

# 公式試合記録



公益社団法人  
日本ホッケー協会

大会名: 第51回全国高等学校選抜ホッケー大会

試合番号	備考	年	月	日	時間	場所	ピッチ
4	男子1回戦	2019	12	21	12:40	川崎重工ホッケースタジアム	B

チーム名	合計	1	2	3	4	5
山口県立高森高等学校	1 Q	0	0	0	0	0
	2 Q	0	0	0	0	0
	3 Q	0	0	0	0	0
	4 Q	1	0	0	0	0
	S O	1	0	0	0	0
チーム名	合計	1	2	3	4	5
岐阜県立可児工業高等学校	1 Q	0	0	0	0	0
	2 Q	0	0	0	0	0
	3 Q	0	0	0	0	0
	4 Q	1	0	0	0	0
	S O	1	0	0	0	0

先発	背番号	氏名	G▲	Y■	R●
✓	1 GK	林 竜我			
✓	2	関本 哲大			
✓	3	豊田 隼大			
✓	4	児玉 大和			
✓	5	河村 魁徒			
✓	6	河村 颯真			
4	7	前田 真之介			
✓	8	洗湯 涼裕			
✓	9	村岡 郁弥			
✓	10 C	佐川 礼			
✓	11	奈良原 亮大			
✓	12	清杉 和也			
4	13	楠本 翔太			
9	14	福田 葵			
24	15	土井 光流			
	16				
	17				
	18				

先発	背番号	氏名	G▲	Y■	R●
✓	1 GK	八木 祥馬			
✓	2	森 雄哉			
✓	3	水野 眞尚斗			
11	4 C	田中 良樹			
✓	5	井口 颯麻			
✓	6	尾関 塁斗			
	7	土佐 悠人			
✓	8	石田 州都			
✓	9	上野 愁也			
✓	10	嶺嶺 悠馬			
✓	11	松久 蓮太郎			
5	12	渡邊 天佑			
✓	13	前島 大輝			
	14	黒田 凌生			
✓	15	森 皓都			
25	16	渡邊 陵			
	17	佐光 唯斗			
	18	板倉 汰知			

時間	No.	種類	時間	No.	種類	時間	No.	種類	時間	No.	種類	時間	No.	種類	時間	No.	種類	時間	No.	種類
46	7	FG																		

種類: FG - Field Goal / PC - Penalty Corner / PS - Penalty Stroke

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	順番	守備者	先・後	S O 戦	先・後	守備者	順番	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
										No.		1	先攻	後攻		No.	9	11	8	6						
										○/×						○/×	×	○	○	○						

時間	結果	時間	結果	時間	結果	時間	結果

チャレンジ: 成功 / ○ - 不成功 / × - No advice / N

監督	徳光 寿	徳光 寿
アンパイア	西山宏明	西山 宏明
R.アンパイア	原田竜平	原田 竜平
S.アンパイア		
ジャッジ	葛木 勝	葛木 勝
T O	中野典子	中野 典子

監督	大野 壮太	大野 壮太
アンパイア	為国壮	為国 壮
S.アンパイア		
ジャッジ		
ジャッジ	島幸奈	島 幸奈
特記事項		

# 第3試合

$$\begin{array}{c} \text{高森高校} \end{array} \begin{array}{c} 1 \\ \left( \begin{array}{cc} 0 & -0 \\ 0 & -0 \\ 0 & -0 \\ 1 & -1 \end{array} \right) \\ 1 \text{ SO } 3 \end{array} \begin{array}{c} 1 \\ \text{可児工業高校} \end{array}$$

得点	<高森>46分 #7前田		
	<可児工業>55分 #6尾関		
戦評	<p>可児工業高等学校のセンターパスにより第1Qが開始された。立ち上がりから激しい攻防が繰り広げられるが、お互いチャンスを作れない。</p> <p>第2Q、可児工業がペースを掴み、#8石田がドリブル突破から何度かチャンスを作るもシュートを放つことが出来ない。26分PCを取得するが高森高等学校の堅い守備に阻まれ得点には至らない。高森も29分PCを取得し、#10佐川がドラッグを放つも可児工業GK #1八木のセーブにより得点には至らない。両者無得点のまま前半が終了。</p> <p>第3Q、高森 #10佐川を中心に攻撃を組み立てるも可児工業の粘り強いDFに阻まれ、チャンスを作ることが出来ない。</p> <p>第4Q、46分高森 #10佐川がドリブルで持ち込みリバースシュートを放ち、GK前で待っていた #7前田がタッチで合わせ、待望の先制点を挙げる。その後も両チーム流れを譲らないまま試合が進む。55分可児工業 #6尾関がリバウンドを押し込み1-1とし、勝負はSO戦の結果、3-1で可児工業高等学校が勝利し、2回戦へ駒を進めた。</p>		
テクニカルオフィサー		中野典子	アンパイア
ジャッジ		蔦木勝・島幸奈	
			西山宏明 為国壮